

学長 ごあいさつ 豊かな人間性と高い専門知識の修得を。



学長 植田 剛司

大阪人間科学大学大学院人間科学研究科は、現代に生きる人が、より健康で、より活力に満ちたよい状態（ウェルビーイング）になるにはどうすればよいかを考え、積極的に解決に向けて研究を重ね、実践力を身に付ける場です。この目的を達成するために、本研究科は心理学専門職コース、心理学総合コースの2コースを設定しています。

経験豊富な教員陣とともに、皆さんが心理学の知識を深め、実践に役立てるための最適な環境を提供いたします。ぜひ、私たちの大学院で新しい一歩を踏み出し、未来の心理学専門家としての道を拓いてください。

大学院指導教員

…専門領域

研究科長
大野 太郎 教授
[公認心理師]

ストレスマネジメント教育 EAP
産業カウンセリング 非行犯罪臨床



博士
(人間科学)

副学長
山岸 正和 教授
[医師]

総合内科学(総合内科専門医)
循環器内科学(循環器内科専門医)
総合医学教育



医学博士

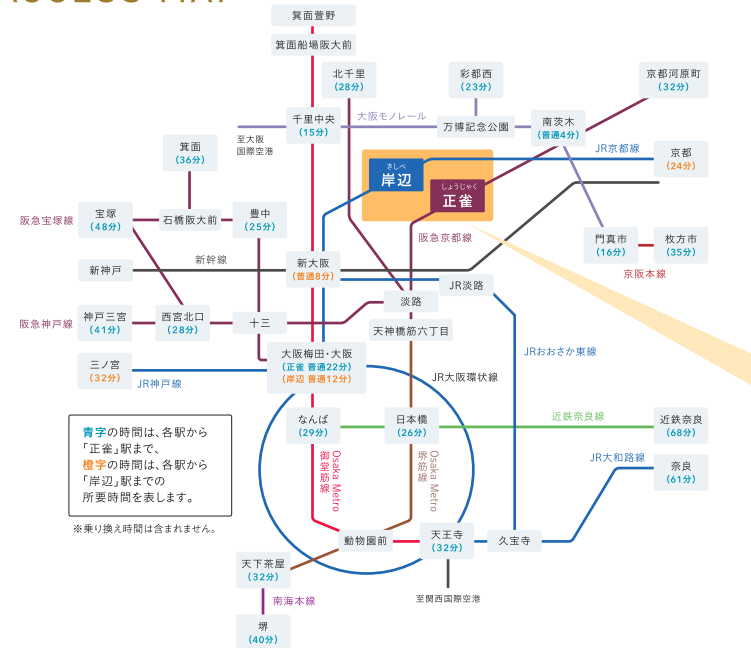
堤 俊彦 教授
[公認心理師・臨床心理士]

児童臨床心理学
行動療法



Ed.D
(教育学博士)

ACCESS MAP



最寄駅から大学まで
阪急京都線「正雀」駅から徒歩5分 JR京都線「岸辺」駅から徒歩10分



成長に、本気。
大阪人間科学大学
大学院 人間科学研究科

〒566-8501 大阪府摂津市正雀1-4-1 TEL.06-6381-3000 (代表) TEL.06-6318-2020 (入試広報センター) <https://www.ohs.ac.jp/>

人間科学専攻
修士課程(2年課程)
〈心理学専門職コース・心理学総合コース〉

大阪人間科学大学大学院 検索



The Graduate School of Osaka University of Human Sciences

大阪人間科学大学 大学院 人間科学研究科 2026



学校法人 薫英学園
大阪人間科学大学

大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科

大阪人間科学大学大学院では、人びとが心身の健康に向けた力を十分に発揮し、より良い人生を目指すことができるように、健康に関する科学研究とその成果を実践に活かすことができる専門家の育成を目的としています。

本大学院の特色は、心理学専門職の国家資格である公認心理師を目指す『**心理学専門職コース**』と、これまで培ってきた専門領域をより発展させるためのリカレント教育や心理学の学術的探求を行う『**心理学総合コース**』の2つのコースにあります。

これらのコースによって、大学院生個人の成長のみならず社会全域の発展についても貢献しうる教育の充実化を図っています。

心理学専門職コース

臨床現場における
高度な知識と技術を持った
公認心理師を目指す

心理学総合コース

対人援助に関する
スキルアップや心理学における
研究者を目指す

Admission policy

本研究科が
求める人物像

1. 心理学に関連する基礎知識と十分な基礎学力及び社会人基礎力をそなえている者。
2. 人びとの健康の回復、維持、そしてその増進に寄与する志向を持つ者。
3. 研究を実践に活用して社会に貢献する意欲を有している者。

長期履修制度について 自分のペースで仕事と学習の両立を実現！

長期履修制度とは、職業を有するなどの事情により、年間に履修できる単位数や研究・学習活動に充てられる時間が限られているため、標準修業年限(2年)では大学院の教育課程の履修が困難な学生を対象に、一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することにより、学位の取得を可能とする制度です。長期間でマイペースに学べ、無理せず仕事と大学院での学びが両立でき、じっくり時間をかけて学ぶことができます。

申請資格

- ・職業を有し、就業している者(正規雇用者に限らず、主として当該収入により生計を維持している者)で、著しく学習時間の制約を受ける者
- ・家事、育児、長期介護などにより、著しく学習時間の制約を受ける者

履修期間

3年又は4年のいずれか
(長期履修の開始時期は入学時点とし、学年の途中から開始することはできません。また、履修期間は延長できません。)

開講科目一覧

※カリキュラムは変更になる場合があります。

心理学専門職コース (公認心理師受験資格取得に必要な科目)

公認心理師 必修科目

- 保健医療分野に関する理論と支援の展開 ●福祉分野に関する理論と支援の展開
- 教育分野に関する理論と支援の展開 ●司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
- 産業・労働分野に関する理論と支援の展開
- 心理的アセスメントに関する理論と実践 ●心理支援に関する理論と実践
- 家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
- 心の健康教育に関する理論と実践

実習科目

- 心理実践実習Ⅰ ●心理実践実習Ⅱ

研究演習科目

- 人間科学研究演習Ⅰ ●人間科学研究演習Ⅱ

心理学総合コース (予定)

健康・発達科学 基幹科目

- 精神発達と健康 ●看護・養護健康学

心理臨床科目

- 心理支援に関する理論と実践
- 心の健康教育に関する理論と実践

特論科目

- 現代子ども教育論 ●組織行動論

特殊講義科目

- ストレスマネジメント特殊講義 ●災害心理学特殊講義

演習科目

- ストレスカウンセリング演習 ●認知行動療法演習

実習科目

- 解決志向カウンセリング実習 ●心理発達アセスメント実習

研究演習科目

- 人間科学研究演習Ⅰ ●人間科学研究演習Ⅱ



修士課程1年次生 竹本 百花さん



心理学専門職 コース

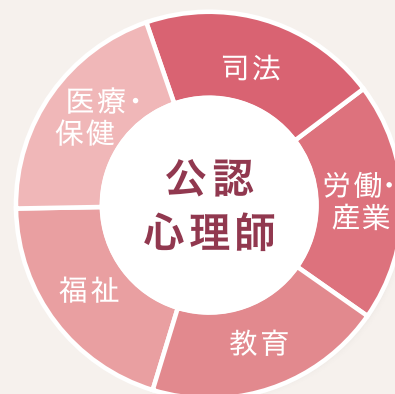
POINT

- 悩める人たちの支援を行う心理専門職である公認心理師受験資格者の養成を行うことを目的としたコースです。
- 心理カウンセリングの技法はもとより認知行動療法、ストレスカウンセリング、解決志向アプローチなどセラピーに通じた心理学について幅広くそして深く学びます。
- 公認心理師受験資格に関心を持つ人をサポートする教育を行います。

※公認心理師国家試験を受験するためには、卒業した大学において公認心理師受験資格取得に必要とされる学部科目を修めておく必要があります。必要な学部科目の履修状況については、卒業したあるいは卒業する大学に確認してください。

公認心理師が活躍する領域は 数多くあります。

- スクールカウンセラー
- 病院の心理カウンセラー
- 会社の心理相談員
- 児童相談所や福祉施設の心理職
- 家庭裁判所調査官
- 少年鑑別所や拘置所などの法務技官（心理）
- 警察の相談員 など



心理学総合 コース

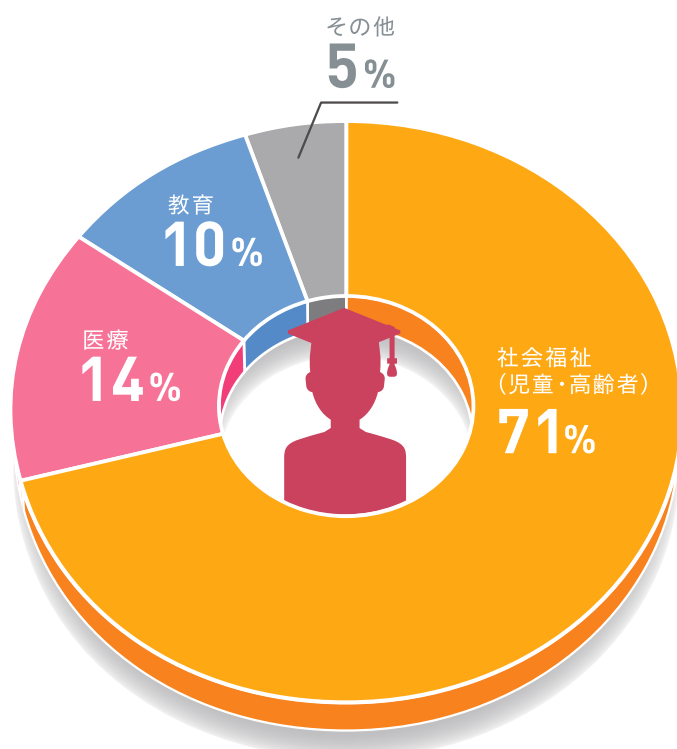
POINT

- 心理学、医療、教育において、心身の健康に関連する仕事に従事している人や、健康の維持、増進のためのスキルを身に付けようとする人に対するリカレント・リスキリング教育の場を提供します。
- 看護師、保健師、教員、その他、人びとの健康に関連する現場において、対人援助の更なるスキルアップを目指す人への教育を行います。

修了後の進路

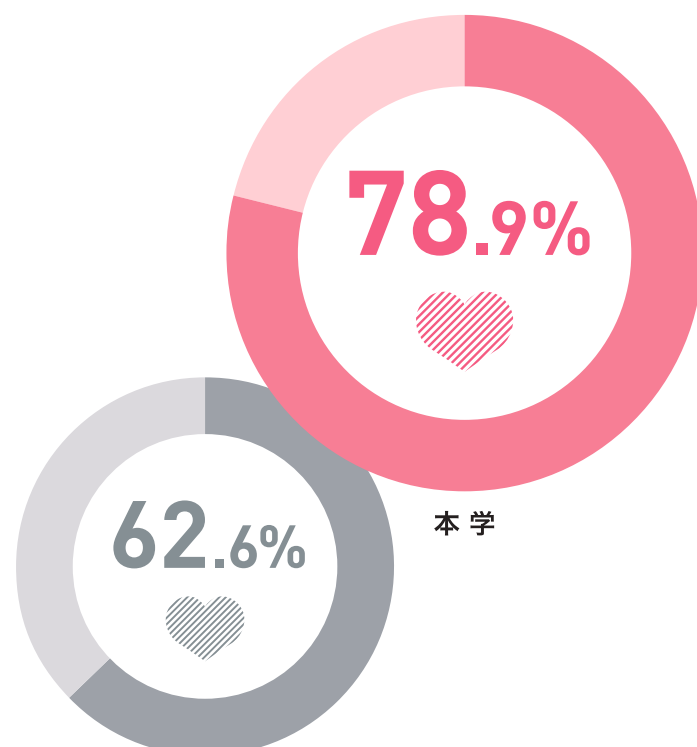
- 医療・保健・教育・社会福祉における専門職
- 企業におけるメンタルヘルス担当者
- コミュニティにおける相談業務職など高度な対人援助職
- その他健康における支援職

公認心理師資格取得者の業種別状況



(2016年修了生から9年間の実績)

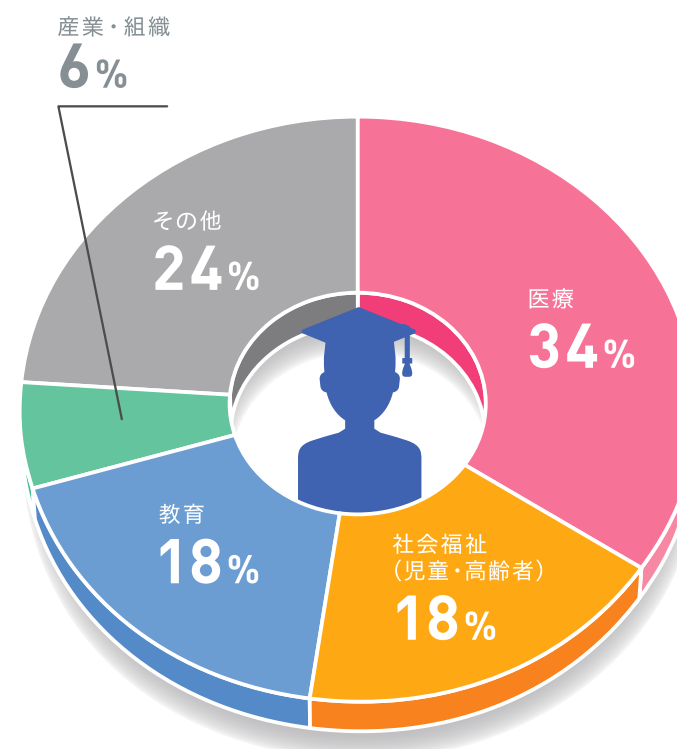
公認心理師試験合格率



全国平均

(2017年修了生からの実績)

総合コース修了者の業種別状況



(2016年修了生から9年間の実績)

修士論文題目

- 血液透析療法を受ける患者のレジリエンス尺度の開発－信頼性・妥当性の検討－
- 精神科看護師のワークモチベーション測定尺度の開発
- 集団音楽療法による意欲の促進と「生き甲斐」との関係性の検証
- 障害児者の同胞の成長過程におけるポジティブな心理的変容
- 集団随伴性の導入が生活習慣改善のためのセルフマネジメントに及ぼす効果について
- 母親に対するサポートと育児ストレスの関係について

過去の修士論文題目は
こちらをご確認ください



心理学専門職コース：在学生の声

高校時代に参加した大学説明会で大阪人間科学大学に出会い、公認心理師取得を目指すこと、心理学以外にも福祉や医療などの様々な対人援助分野にも触れられることに魅力を感じ、進学を決めました。さらに、大学院まで一貫して学べる環境があることも大きな決め手になりました。

大学院への進学では、学部時代のゼミ教員のもとでさらに深く学びたいという思いから、内部進学を決めました。学内にある専門機関「心理・教育相談センター」でカウンセリングやプレイセラピーなどの実践経験が積める点も重要なポイントとなりました。

本大学院は、自分の学びの場を自ら作っていくことができる大学院だと感じています。先生や先輩も大変なときには親身になってサポートしてくださいます。そのため、自分が何を学び、何をを目指すのかをひたすら探究していくことができると思います。その経験は社会に出た後も、きっと自らを支える大きな力になるはずです。

皆さんも、この魅力的な大学院で一緒に心理の学びを深めてみませんか？

ウ タ タケル
雅楽 笙 さん

2024年3月 大阪人間科学大学
心理学部 心理学科 卒業
大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科
人間科学専攻 心理学専門職コース
2年次生



修了生の声

私は現在、特別支援学校の小学部で、肢体不自由児学級の担任をしています。児童の学習指導、日常生活の指導のほか、保護者への相談業務や関係機関(医療機関、福祉施設など)とケース会議や施設見学、情報共有などの連携も行っています。

教員を目指したのは、障がいの特性の多様化や家庭が抱える事情の複雑化を背景に、その悩みや不安を誰にも伝えられずに抱え込んでしまう人が増えている中で、教員ならではの身近な存在として、その支えになりたいと思ったからです。

本大学院では、私は一から心理学を学びましたが、特に子どもの行動上の課題解決を目指して、行動分析学に基づく研究に取り組みました。このときの経験や知識は、現職での授業作りや生徒指導・支援の基本と言われる実態把握やPDCAサイクルを行う上でとても役立っています。

本大学院は、やりたいと思うことを拾い上げて一緒に考えてくださる先生方がたくさんいらっしゃいます。学びたい、追究したいことを突き詰めていくことが自身のステップアップにつながっていくと思うので、その気持ちを大切にして学んでほしいと思います。

セン ダ コウ ミ
千田 侑美 さん

勤務地／和歌山県立 和歌山さくら支援学校
〈公認心理師、特別支援教諭一種免許状、
小学校教諭一種免許状、幼稚園教諭一種免許状〉
2017年3月 大阪大谷大学 教育福祉学部
教育福祉学科 卒業
2019年3月 大阪人間科学大学大学院
人間科学研究科 人間科学専攻
心理学専門職コース 修了



心理学専門職コース：在学生の声

高校のとき、医療系のコースに在籍していたこともあり、福祉や医療などの多職種連携の重要性を学ぶ中で、人の心に寄り添う心理職を目指したいと思うようになりました。また、重度障がい者施設を訪れた際、「知らない」ということが偏見につながると感じた経験も、自分の中で「心理学を深く学びたい」という思いを後押ししました。

当初から公認心理師を目指すことは決めていたため、大学から大学院まで一貫して学べる体制が整っている大阪人間科学大学に魅力を感じ、すでに関係性が構築できている先生方のもとで大学院まで学びを続けられる安心感や、少人数で丁寧な指導が受けられることも、本大学院を選んだ大きな理由です。

本大学院での生活は決して一人ではなく、私自身、先生方や同じ学年の学友にたくさん支えてもらいながら、日々学びを積み重ねています。一緒に悩んだり、考えを共有したりできる仲間がいることは、本当に心強いと実感しています。迷いながらも、「心理学をもっと知りたい」「誰かの役に立ちたい」という気持ちがあれば、大学院での学びはきっと力になると思います。ぜひ、自分の“ちょっとした興味”を信じて、一歩踏み出してみてください！

ヤマ モト スズ サ
山本 珠彩 さん

2024年3月 大阪人間科学大学
心理学部 心理学科 卒業
大阪人間科学大学大学院 人間科学研究科
人間科学専攻 心理学専門職コース
2年次生



修了生の声

現在、精神科病院で勤務しており、入院・通院の患者さまに対する心理検査や心理教育プログラムの立案を行い、患者さまの特性を把握しながら今後の生活をより良く過ごすための方法を共に考えています。

患者さまと対話を重ね、その人らしさを一緒に見つけていくことにとてもやりがいを感じ、その中で患者さまの笑顔を引き出せたときにはこの仕事をしていて良かったと心から思います。大変なことは、患者さまと心と心でつながるため、私自身の心の動きや自分を見つめなおす作業も必然的に増えてくる点です。そういう意味では大変さやしんどさも感じますが、自分自身を理解して、より良い患者さまの支援につながると信じて頑張っています。

本大学院では、実習に修士論文など様々なハードルはありますが、先生方や同学年の学友とともに学び創り上げていくことはとてもやりがいがあります。そして、そこでできた仲間の力は臨床現場に出てからもきっと自分の支えになります。ぜひ「一生モノ」の仲間を本大学院で見つけていただきたいです。

タキ ガワ ラノ
瀧川 楽乃 さん 〈公認心理師〉

勤務地／医療法人財団 北林厚生会 五条山病院
2022年3月 大阪人間科学大学 人間科学部
医療心理学科 臨床発達心理専攻
(現 心理学部 心理学科) 卒業
2024年3月 大阪人間科学大学大学院
人間科学研究科 人間科学専攻
心理学専門職コース 修了

